

■ プロレタリア作家

小林 多喜二

こばやし たきじ

出身地 大館市

1903年（明治36年）～1933年（昭和8年）

プロレタリア文学と文化運動を指導し、その代表的な作家となる。文学面から「思想と現実の統一」をさぐ探り、『1928年3月15日』、ついで『蟹工かにこう船』をせん発表し、各国語にほんやく翻訳されて国際的な評価を得る。



年譜

- 1903年 おおだて大館市に生まれる。
- 1924年 おたる小樽高等商業学校卒業。北海道拓殖銀行に就職。たくしよく しゅうしよく
- 1927年 どうじんし同人誌『クラルテ』を創刊。そうかん
- 1928年 れんめい かめい労農芸術家連盟に加盟。社会科学研究会に出席。
- 1928年 『一九二八年三月十五日』を発表。注目される。
- 1929年 かにこうせん『蟹工船』刊行。北海道拓殖銀行を解雇される。たくしよく かいこ
- 1930年 『不在地主』『工場細胞』刊行。東京都に移る。さいぼう
- 1931年 自伝的小説『転形期の人々』（未完）を発表。
日本プロレタリア文化連盟を結成。れんめい
- 1933年 ぼつ さい東京都で没。29歳。